

旭混声合唱団広報 楽楽~Raku laku

No. 144
2008.2.16
発行/広報係
担当:久野

響きと気持ちをひとつにして
第7回演奏会にむけて練習しましょう。

《練習日程》

庭の梅がちらほら咲きはじめました

月 日		会 場	時 間	備 考
2月	16日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	23日(土)	//	//	
3月	1日(土)	//	//	
	2日(日)	公民館まつり 《詳細別途》 旭丘公民館にて直前練習 10:00~12:00		
	8日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	15日(土)	中央公民館 勤労青少年ホーム 軽音楽室	18:00~21:00	18:00~ ボイトレニング 19:00~通常練習
	22日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	23日(日)	//	13:00~17:00	特別練習
	29日(土)	//	19:00~21:00	
4月	5日(土)	//	//	
	12日(土)	//	//	
	19日(土)	//	//	
	26日(土)	//	//	
	27日(日)	//	13:00~17:00	特別練習
5月	3日(土)	//	19:00~21:00	
	10日(土)	//	//	
	17日(土)	//	//	
	24日(土)	//	//	
	25日(日)	//	13:00~17:00	特別練習
	31日(土)	//	19:00~21:00	

※女声パート練習=2/16(土) 18:00~19:00 於:旭丘公民館
※男声パート練習=2/17(日) 17:00~ 於:旭丘公民館

《ご報告》

尾張旭市公民館まつり 3月2日

「歌」と「足」、「童神」、中孝介の「花」

今回も暗譜かしら？

第7回演奏会拡大実行委員会（2008. 1. 26）

神谷先生、ピアノの石川先生をお迎えして、午後5時からの約2時間
ステージの構成、練習の進め方、沢山のお客様にお越しいただくための
情宣のあり方などについて協議しました。

第1ステージ アカハラ 宗教曲

- ・ブスト Ave Maria
- ・ビクトリア Ave Maria
- ・パレストリーナ sicut cervus desiderat
- ・ブルックナー
- ・O Magnum Mysterium 『お年玉の曲』

幕間：楽器設置の時間、着替時間を考慮しステージとステージの間の時間を
設定する。

第2ステージ 美ら海のうたより

- ・涙そうそう
- ・芭蕉布 アルサ？？要検討
- ・童神
- ・さとうきび畑
- ・島唄
- ・月ぬ美しや
- ・島人ぬ宝
- ・花

衣装 沖縄風（美和II-さんの衣装を参考に検討。）
かりゆしウエア- etc.

楽器 ・さんしん等楽器を考える
・洋楽器については、ステージ構成上効果があれば検討したい
・打楽器とピアノとの合奏も考慮に入れて、団員でアイデアを出して
検討する。肝心の合唱に影響のない程度に…

第3ステージ 旅のかなたに（盛り上がり肝心）

- 暗譜
- ・しあわせよカタツムリにのって
 - ・歌
 - ・それは
 - ・足
 - ・旅のかなたに

アコール 要望曲名 うたおうよ 団歌 私たちのほし
時期をみて選定
団長挨拶 最後をめる

《イベント》

「サキソフォーンズナイト」 2008.2.18 18:00~19:30 DOXY
三日月孝(sax) / 所 克頼(sax)
中山順次(sax) / 真室香代(sax) / 石川ひとみ(p)

「ピアノトリオでナイト」 2008.3.31 18:00~19:00 DOXY
今泉香予子(vln) / 杉浦薫(vlc) / 石川ひとみ(p)

岐阜聖徳学園大学 Voice Harmony 第10回記念定期演奏会
場所：岐阜市文化センター 小劇場
日時：2008.2.23 14:00~

グリーニク-第51回演奏会 場所：愛知県芸術劇場コンサートホール
・ブリテン「春の交響曲」 日時：2008.2.17
・コダーイ「ミサ・プレヴィス」
・シベリウス「悲しきワルツ」(管弦楽作品)
指揮：小泉和裕
独唱：荻野砂和子 / 竹本節子 / 高橋淳 / 末吉利行
名古屋少年少女合唱団 / 名フィル

岡崎混声合唱団 岡崎高校コーラス部 第29回定期演奏会
場所：愛知県芸術劇場コンサートホール
日時：2008.3.16 開場：13:15 開演14:00
廃墟から
～無伴奏混声合唱のために～ 作曲：信長貴富
詩：原 民喜 井上光晴 吉田嘉七 沖縄の伝承詩
八重山・宮古の三つの島唄 作曲：松下 耕
ジョスカン・デ・プレ作品集 作曲：ジョスカン・デ・プレ

企画ステージ

While there is life,, there is hope.
曲：Amazing Grace 他

クラシック 第8回定期演奏会 場所：愛知県芸術劇場コンサートホール
日時：2008.5.6 開場：15:30 開演：16:00

- ・さすらう若人の歌
- ・月光とピアノ
- ・花筐
- ・おとこはおこと

【音楽豆辞典】

『美ら島のうた』を歌うにあたり、沖縄について知っているようで理解が足りない部分が多いことに気づき、調べたことの一端を載せることにしました。やはり悲惨な戦争の惨禍を受けた“沖縄の歴史”をふまえねばと実感した次第です。歴史に興味のある方は下記の「情報サイト」が参考になるかと思います。

参考：『沖縄情報 IMA』（沖縄の歴史）<http://www.okinawainfo.net/index.html>

★沖縄音楽について

沖縄の音楽は琉球の時代、首里城の中で始まった「琉球古典音楽」とそれ以外の民謡に分かれる。古典音楽は限られた人のための音楽であったが、民謡は三線の伴奏と共に一般の暮らしのなかで受け継がれ、現在でも多くの人に歌われている。これらの曲は琉球音階によって作られている。代表的な歌に「安里屋ユンタ」「ていんさぐぬ花」等がある。



～沖縄の音階～

沖縄の民謡の音階は、琉球音階とよばれ、一般的には「ドミファソシド」という5音音階【ペンタトニック】となっています。

これは日本の民謡や邦楽に見られる音階と同じくアジア的な5音音階です。琉球音階は（ドーミ）、（ソーシ）の音程と、そのあとに現れる〈ミーファ〉、〈シード〉の半音との結びつきに特徴があります。

「ドミファソシド」という音階は沖縄だけでなく、インドネシア（ガムランのペロググ調）や中国の雲南省、ヒマラヤ南麓のブータンなどにも存在しているようです。

しかし、沖縄諸島にみられる音階は、琉球音階だけではありません。八重山諸島の古謡として歌いつがれるユンタやジラバには、日本の雅楽と共通する律音階「ドレミソラド」という音階もあります。

～現在の沖縄音楽～

昔からある曲以外に、次々に新作が生み出されていることも、沖縄の民謡の特徴の一つです。また、県内で作られた民謡は、県内で楽しまれているばかりか、最近では、県外や外国に住む沖縄出身者の子どもや孫にも広がっています。沖縄音楽は、沖縄から飛び出し、世界各地で受け入れられているのです。

THE BOOMの宮沢和史（島唄）、BEGIN（島人ぬ宝・涙そうそう）、御徒町颯/森山直太郎（花）、古謝美佐子/佐原一哉（童神）等による作曲演奏活動、夏川りみ、中孝介らの歌手による一連の「沖縄ポップス」は、「さとうきび畑」（寺島尚彦/作詞作曲）などと共に広く愛され歌われてきています。

“沖縄”にこだわって作曲したという“THE BOOMの宮沢和史さんの言葉より”

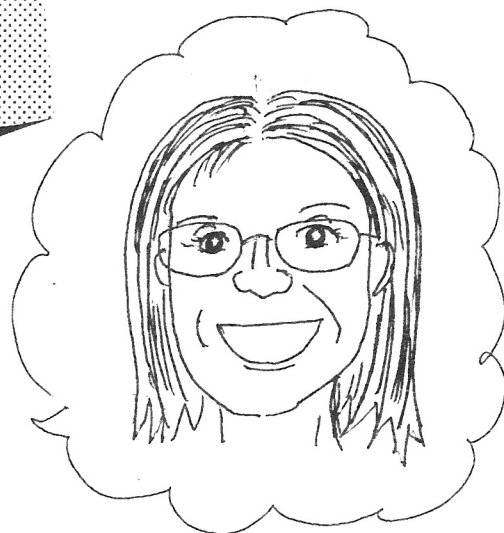
「様々な生活とか歴史とか、そういうものが全て歌の中に記録されている。何の歴史書を読むよりも、開くよりも、歌を聴けば全て分かるというところが魅力的だし、しかもまだ途絶えていないというか、過去のものじゃなくて、今でも民謡の素晴らしい方もたくさん生まれて、新しい歌も生まれているというところがいいですね。すごくてね。」

（参考 URL）AREA 沖縄：<http://www.j-area2.com/japan/alacarte/okinawa/index.html>
沖縄ナビ：<http://www.okinawa.to/>

えみちゃんの

突撃インタビュー

今月のインタビューはアルトの前川久美子さんで～す！
昨年11月に入団いたしました。目がくりくりとして、本を片手にすたすた歩く姿が似合いそうで、学生さん？と聞いてしまったほど若く見えます。



自己紹介 1962年4月2日、^{とやまけんおやべし}富山県小矢部市で生まれました。

両親共働きの家庭で育ち、年の離れた弟が一人。

姉というよりはチーママのような存在でオムツも替えてやりましたが、今ではすっかり大人の付き合いです。

20年くらい前に結婚して二人の女の子と一人の男の子の母になりました。付き合い始めてからずっと私の我がままを聞いてくれてるダンナも健在です。

性格は？ 小さい頃は内向的で自己主張もなく今思えば暗かったかな。今はその頃よりは明るくて前向きだと思います。

趣味は 美味しいものを作るのが好きです。

好きなもの 音楽に関しては、浜崎あゆみ、寺井直子のバイオリン、スパンホルムシンガーズのハーモニー、ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団、小田和正、マルタアルゲリッチのピアノ、ラフマニノフ、オペラ座の怪人(DVD)。(ジャンル広～っ！)

テレビ番組は、黒革の手帖、のだめカンタービレ、どですか！、剣客商売、鬼平犯科帳。

食べ物は、苺と甘夏が大好き。和洋問わず甘いもの、コーヒー、蕎麦、味噌煮込みうどん。

はまっていること 整体です。とにかく気持ちがいい。通っているところは足で揉まれるのが特徴です。痛いのですが終わった後は空に飛んでいけるような気がします。たぶん一生離れられない…異にはまったかも。

合唱の経験は ママさんコーラス(名古屋市立八事小学校PTAコーラス)に始まり、女声合唱、混声合唱。かれこれ10年くらい(ここ3～4年は仕事の関係で活動を休止してました)になります。オケ付で歌うことが多かったので、ハーモニーを追求したくて6人で女声三部のアカペラをやったりもしました。

オーケストラアンサンブル金沢の合唱団で佐々木正利先生(岩手大学の教授です)の指導でバッハを歌ってから宗教曲が好きになりました。人前で歌うことはとても苦手なのですが、いろんな人達と出会えていろんな経験をして今まで知らなかったことが現実になっていくことはおもしろい一言に尽きます。

これからに向けて しばらく歌っていなかったこともあって思うように声が出ない音域もありますが、精一杯練習して合唱を楽しめるようにがんばりたいと思います。みなさんの美しい響きの仲間に早く入りたいですね。

インターネットで旭混声を知り、瀬戸フェスティバルを聞きに来てくれてその中で響きの一番いい我団に入団することに決めたのだそうです。“えーっ、一番響きが良かったの？！”と思わず聞きなりましたが、うれしいかぎりです。意見もはっきりしていて、打てば2倍に響く前川さん。団にとっても頼もしい新人です。大いに期待してますよ～！！